

<活動報告書>

フリガナ	マツヤマセイリョウガクエン マツヤマセイリョウコウトウガッコウ
①団体名・学校名	松山聖陵学園 松山聖陵高等学校
②担当者	フリガナ
	氏名
	所属 役職
	TEL
	E-mail
③申請テーマ	建築施工実習 (鉄筋コンクリート構造) (鉄筋組立・型枠組立・型枠支保工・足場組立)
④活動期間	令和4年9月14日～10月26日 毎水曜日・3～4校時
⑤活動内容を記載	<p>※3年建築科「実習」は、1クラス39名を13名ずつの3班に分かれて授業を行う。 ①金工実習②木工実習③施工実習(本活動)を3ショップ5～6回の授業でローテーションする。</p> <p>1 9月14日(水) 鉄筋コンクリート工事のあらましと安全教育の講義 2 9月21日(水) 型枠工事、柱型・壁の組み立てる。型枠を緊結する。 3 9月28日(水) 柱筋、壁筋の組み立て。スペーサーの設置、検査等 4 10月5日(水) 外部枠組み足場の設置 5 10月19日(水) 仮設足場、型枠、鉄筋の解体 6 10月26日(水) 活動・取り組み結果のまとめ、報告書の作成</p> <p>実物や現場になるべく近い状態で施工実習を試みたが、校内の敷地や設備で実施した為に限られた場所・時間・経費の枠内で規模や内容において実際の建築物とは異なる。しかし、「戸田みらい助成金」のおかげで、年間予算では購入できない活きた教材を準備することが出来き、大変有意義な授業を学び体験的に習得することができた。</p>
⑥活動費用合計	338,587円
⑦別紙説明資料の有無	ある・なし

<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)

- ・2本の柱型枠の間に長さ2100高さ1800の壁型枠が組上がったので、二人組になりセパレーターを上部から組み込んでいる写真である。
- ・壁面の反対側では、チームを組んだもう一人がいんぱくとどらいばーを使用してフォームタイをセットしている。
- ・その後はひずみ等微調整しながらアルミ製や木製のばた材、チェーン、パイプサポートなどを使用して型枠材を緊結する。

【写真2】



(状況説明)

- ・両側2本の柱が帯筋まで組上がった後は、壁筋の組み立てを行った。
- ・赤くペイントされた段取り筋を基準に縦筋を全て組み上げ、縦横の通りを調整しながら全員が交代しながら、ハッカーにより結束して組み上げた。

【写真3】



(状況説明)

- ・作業の手順からすると前後するが、型枠組立実習と鉄筋組立実習がほぼ終了する時期に、鋼製枠組み足場の組立・解体実習を並行して行った。
- ・ジャッキ型ベース金物をキャスタータイプに取り替えて移動式ローリンクタワー式の足場を組み立てた。
- ・尚、危険を伴う作業の時に守らなければならない労働安全衛生法の規定についても、建設安全研究会制作のDVDを観て学んだ。